

またらの風



令和8年4月13日
学校便り No.2
校長 上田 一正

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

～入学式を挙行了しました～

4月9日(木)9:30より、第80回馬渡小中学校入学式を挙行することができました。今年の新入生は中学生2名で、入学式を終えて令和8年度の児童生徒11名が全員揃いました。式中の校長式辞で「チャレンジしてうまくいなくても、あきらめずチャレンジ・挑戦を繰り返すことで、さらに可能性や新たな目標が生まれます」と伝えました。

育友会会長、山下様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、また見守っていただきながら、大変あたたかみのある式になりました。

儀式行事の司会進行を担った中学生、新入生の初々しさ、在校生の気持ちがこもったあいさつ、にとっても心を動かされ、気付けば大きな声でいっしょに校歌を歌っていました。良い式でした！



～入学式ができるまで～

なんでもそうなのですが、入学式を実施するには、準備作業が必要になります。限られた時間、労力をフルに使って、在校生と職員が役割分担して取り組みます。

入学式の前日に会場づくりや教室の飾りつけなどを行ないました。今年の入学式では、司会進行も生徒が行いますから原稿の確認やリハーサルも入念に行います。朝の時間に全員でシートを敷きます。式場の机の上に置く花飾りの下敷きにもお祝いのメッセージがありました。定番の教室黒板へのお祝いイラストがまた素晴らしかったです。

学校ではいろいろな行事がありますが、このように、いくつもの準備と思いが折り重なったうえで成り立っているのだな、と改めて認識することができました。



～ほぼEveryday授業参観～

教科指導の状況や生徒の様子を確認するために、管理職は授業参観をします。学校教育における学習活動は、知識獲得や学力向上はもちろんですが、学びを通して社会性を高め、人格を形成していくことが根幹にあります。



す。GIGA スクール以降、タブレットなど学習のための道具が増え、学びのスタイルは幅が広がってきました。

電子黒板はもはやマストです

活動を通して考え行動する力を養う、問題解決型の学習

